

# 新基地建設反対名護共同センターニュース

## 非常に強い毒性持つ接着剤使用しサンゴ移植



↑移植中の作業員に「サンゴ殺すな」のパネルをかざすNさん。  
←接着剤で固定されたサンゴ

農水相が沖縄県の許可撤回を執行停止し、防衛局がサンゴの移植を再開しています。この件で、土木技師・北上田毅さんのブログから了解をえて要旨を転載します。ダイビングチームから送られた写真をみると移植するサンゴを固定するために、「エスダイン・ジョイナードW一般用(主剤)」という水中接着剤が使用されていた。作業員らはこの接着剤を素手でダンゴ状にし、サンゴに付けて海底に固定している。作業中、辺りの海水はすっかり白濁している。この接着剤の安全データシートを見て驚いた。そこでは、「水生生物に非常に強い毒性」、「皮膚に触れたりすると中毒やかぶれを起こすおそれ」、「アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ」等と注意書きをしているのだ。海中生物への影響、そして素手でこの接着剤を触っている作業員さんへの影響が危惧される。現在は、I地区の830群体のサンゴ類だが、続いてJPK地区の3万8738群体ものサンゴ類が移植される。最終的には7万5千群体ものサンゴ類が移植されるので、水中接着剤の影響は無視できない。防衛局は、この接着剤の安全性について説明しなければならぬ。

### 危惧される海中生物と作業員への影響

## 「誇りある豊かな名護市を！」岸本洋平氏が出馬表明

名護市議会議員の岸本洋平氏(48歳)は17日、名護市宇茂佐の海岸で記者会見し来年1月23日投開票される名護市長選挙に出馬することを表明しました。コロナ感染症拡大防止のため、一般市民や後援会員は参加せず、メディアと主催者3人で会見が行われました。

### 到底認めることはできない新基地建設の強行

岸本氏は、コロナ感染症問題で苦しむ多くの事業者や市民に市独自の支援策が求められる●地場産品の徹底活用で地域経済が循環するまちづくりをすすめる●市独自の格差のない教育環境をつくる●辺野古新基地問題は私の父が「沿岸案は絶対に受け入れることはできない」と表明していた。父の死後わずか11日後に「辺野古V字沿岸案」が合意され、父が示した7つの条件は反故にされた。その約束をまるでなかったかのような工事の強行は到底認めることはできない、誇りある豊かな沖縄、名護市をつくっていく、などと出馬に当たっての決意を表明しました。

会見では稲嶺進後援会長が挨拶、玉城デニー知事、赤嶺政権衆院議員など沖縄選出の衆参国会議員などからメッセージが寄せられました。



岸本氏が生まれ育った名護湾に面する宇茂佐海岸で記者会見する岸本洋平氏(中央)、左は稲嶺氏。

### 資金カンパ 再度のお願い

#### 厳しい当共同センターの運営

昨年来のコロナ感染症の拡大で辺野古新基地建設反対運動も困難を強いられています。

本土からの支援者がほとんどゼロになり支援カンパが極端に減少しています。このため、当ニュースを発行する名護共同センターの維持・運営も厳しい状態に陥っています。

再三のお願いで恐縮ですが、カンパのご支援を訴えさせていただきます。ご協力をよろしく願います。

新基地建設反対名護共同センター  
共同代表 具志堅徹  
【郵便振込口座】

口座記号番号：01710-0-166221

加入者名：新基地建設反対  
名護共同センター

## 故岸本市長がめざした理想の名護市実現を！

二見以北10区の会が9日、岸本洋平氏に提出した出馬要請書が共感を呼んでいます。その要旨を紹介いたします。

### 2022年名護市長選挙への出馬要請

私たち「へり基地」でない二見以北十区(会)は、1997年10月に東海岸の二見以北十区の住民によって結成された、辺野古新基地建設に反対する住民団体です。以来24年間、紆余曲折はありながら、私たちは基地反対の声を上げ続けてきました。それはただ、静かな暮らしを守りたい、子や孫たちに基地という負の遺産ではなく、自然と平和を残したいというごく当たり前の、ささやかな願いに過ぎませんが、日本政府はそれをことごとく踏みじり、地元住民の声は今日に至るまで無視されたままです。

故岸本建男元市長が、7つの条件を付けて基地を受け入れるという「苦渋の選択」をせざるを得なかったことから、彼は私たちの抗議の相手となってしまいました。ただ、極めて不本意なものであったろうと察します。

ただならぬその心労が、建男氏の早すぎる死を招いたのではないかと、彼は日本政府に殺されたも同然だ、と考える住民もいます。そして、今こそ彼の無念を晴らし、建男氏が夢見た、そして私たちを含め多くの名護市民が望む理想の名護市に向かって進むべき時期だとも。

建男氏の長男である貴殿には、是非とも、父が果たせなかった理想の名護市、自然豊かで市民の民意が生きる自立・平和の名護市を作っていくためのリーダーシップをとっていただきたいと切望し、この度の名護市長選挙への出馬を衷心から要請するものです。

2021年8月9日

岸本洋平様

へり基地 二見以北10区の会

共同代表 渡具知智佳子・浦島悦子